別紙様式1

令和8年度　学校評価表

（ 中間・最終 ）　　学校名　三原市立第三中学校　　校番（　3　）

a 学校教育目標	仲間とともに輝け三中 ～果敢に挑戦する生徒の育成～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】（自校の使命） 社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成 【ビジョン】（自校の将来像） 社会や世界の状況に対応し，よりよい社会を創るために挑戦する生徒が育つ学校

評価計画						自己評価					改善方策	学校関係者評価			
	c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10 月 h 達成値	2 月 h 達成値	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価 イ	ロ	ハ	m コメント
確かな学力	◎主体的・対話的・深い学びの創造	○個別最適な学びに向けた授業改善（選択肢と自己決定）	○選択肢と自己決定のある授業づくり ○振り返りの充実（R80） ○学習者用端末の積極的活用	○選択肢と自己決定の場（月1回以上） ○R80のシェア実施 ○授業交流週間の実施 ○教育研究推進に係る校内研修実施	80% 100% 3回 6回	100% 60% 1回 3回		125% 60% 33% 50%	A C C C	・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、選択肢と自己決定の場を設定する実践を進めている。 ・R80のシェアをして、深い学びにつながる振り返りの充実に努めている。 ・予定された授業交流週間、授業研究は計画通り実施しできている。指導案作成、事前事後協議を通じて、授業改善に取り組んでいる。	・引き続き選択肢と自己決定の場面を設定することで、主体的な学びを推進する。 ・書かせたいR80を確実にし、シェアできるよう授業の時間配分を考え、振り返りの充実を図る。 ・主体的・対話的・深い学びに迫る授業研究を継続する。	○			○振り返りの時間配分を取り入れた授業、自己決定の場を設定した授業の推進を期待します。 ○「授業がよくわかる」の肯定的評価が維持できるよう、更なる授業改善をお願いします。 ○試験勉強に悩んでいる生徒が多いように感じる。その辺りの分析が必要かもしれない。 ○授業参観の中で、見せていただける機会を増やしてもらっていることの継続を。
	○豊かな表現力と協働性の育成	○批評的思考力や相手意識を持った表現力（パブリックスピーキング）向上	○第三中「授業づくり徹底5項目＋パブリックスピーキング」の実施 ○基礎学力を培う学力向上学習（GK）	生徒アンケートにおいて ○「授業がよくわかる」の質問に対する肯定的評価 ○「Chromebookを使った学習はよくわかる」 ○デイリーライフ記入（5行以上）	80% 85% 90%	84% 92% 90%		105% 108% 100%	A A A	・授業づくり徹底5項目を確実に行い、アウトプットを意識した授業をすることにより、授業がよくわかると実感できる生徒が増加している。 ・Googleclassroomでの課題やレポート、まとめ、振り返り、アンケート、AI等、活用場面が増えた。家庭学習においても効率的、効果的活用を継続する。 ・各担任のデイリーライフ点検において、肯定的評価を増やし記入についての意欲を継続させている。	・引き続き授業づくり徹底5項目とアウトプットを意識した授業を行い生徒の学習理解を進める。 ・ICT研修参加やICT活用についての教職員間情報共有を進め、ICT活用の幅を広げ、授業改善に繋げる。 ・引き続きデイリーライフ点検時の肯定的評価をし、記述する意欲を継続させる。	○			○デイリーライフは、読み返すと面白いので継続していただきたい。
豊かな心・健やかな体	○積極的な生徒指導の充実	○ピア・サポートによる親和性の高い集団づくり	○自主的・自立的な生徒会活動の推進 ・縦割り集団によるピア・サポート活動の充実 ・生徒が主体となる学校行事（三中チャレンジカップ等） ・「学校生活のきまり」を改善する等、主権者教育の促進 ○三中スタンダードの徹底及び質の向上 ・挨拶、返事、言葉遣い、無言掃除	○生徒アンケートにおいて ①「学校が楽しい」 ②「友達と話し合い、考えを広めていける」の質問に対する肯定的評価 ○「学校生活のきまり」の見直しに係る生徒等を含めた協議	① 90% ② 85% ③ 1回	① 92.3% ② 83.1% ③ 11月 1月 実施 予定		① 103% ② 98% ③ 未実施により後ほど掲載	① A ② A ③ 未実施により後ほど記載	○運動会の実施において、生徒リーダーを中心とした運営をすることができた。また、学習発表会に向けても生徒リーダーや合唱リーダーが前面に出て指導をしている。 ○生徒会からチャレンジカップを企画し、環境整備や衛生活動を実施することができている。	○生徒会活動を活性化させ、三中チャレンジカップの企画を継続する。 ○三中スタンダードの徹底について、生徒会から問題提起できるよう、生徒協議を実施する。 ○「学校生活のきまり」見直しを図るため、事前アンケートの実施と「きまり」の大切さを集会等で伝えていく。	○			○生徒が主体となって行事等を進めている姿が多くみられました。自主性を更に高めてください。 ○学校が楽しいという生徒が92.3%と高い達成値が好印象。 ○合唱を聞かせてもらい、生徒の意欲や団結を感じた。 ○「何が楽しい？」を大切に継続を。
	◎生徒指導提要に基づいた実践	○不登校の未然防止に向けた取組	○不登校SSR推進校の取組 ・実態要項に基づいた組織的な実践 ・安心、安全な居場所づくり ・小中連携の充実 ・関係機関との協働的な連携実施	○不登校等生徒支援会議の開催 ○不登校等児童生徒支援Coによる校区内小中連携	毎週 月1回	毎週 実施 月1回 実施		100% 100%	A A	○不登校等生徒支援会議において、常に生徒の様子を確認、協議することができた。 ○SC、SSWと連携し、支援を要する生徒や保護者を繋ぐことができた。 ○SSR利用生徒の居場所づくりだけではなく、学習習慣を確保することができるようになった。 ○校内小中連携を図ることで、校内取組の連携や次年度入学予定生徒の事前連携を図ることができた。	○不登校生徒や不登校傾向にある生徒への支援・取組を継続し、登校のない生徒については、学校と繋がる取組の提案や関係機関へ繋げられるようにする。	○			○不登校傾向生徒に対し、チームで取り組み、不登校生徒が増えないよう組織的な対応をお願いします。 ○放課後の活動も制限があるが、継続しての活動に期待。 ○チームとして、生徒への取組を続けてほしい。不登校生徒への選択肢を増やし、対応を充実してほしい。 ○現状分析からのアプローチ継続を。
信頼される学校	○開かれた学校づくりと教職員の資質向上	○教育活動の積極的な情報発信 ○法令を遵守した教育活動	＜目標達成のための方策＞ ○便りやHPを活用した学校教育の発信 ○すぐーるの積極的活用 ○服務研修の充実（人材育成に資する計画的な研修の実施）	○ホームページの更新 ○すぐーるによる発信 ○計画的な服務研修の実施	月1回 月3回 月1回	月1回 月3回以上 月1回		100% 100% 100%	A A A	○HPやすぐーるによる定期的な情報発信が定着し、目標通りの配信を継続できた。 ○今年度は、全職員が服務研修を担当し計画通り実施できている。	○保護者・地域にとって必要な情報を配信する。 ○すぐーるによる各通信等の定期的配信を継続し、タイムリーな情報共有に努める。 ○毎月の服務研修に加え、臨時の服務研修を確実に実施し教職員の危機管理意識を高めて不祥事防止につなげる。	○			○引き続きHPの更新を行い、学校の様子が地域にも伝わるようお願いします。 ○保護者への連絡がかなりスムーズになったが、すぐーるを見ない保護者に対しての対応が課題。
働き方改革	○教育の質を高めるための環境づくり	○「指針」に基づいた学校の取組を推進	○定時退校日の完全実施 ○組織的・計画的な学校運営による効率化 ○生徒に向き合う時間の確保	○超過勤務月60時間以内 ○新たな業務改善	80% 学期1回	97% 1回		121% 100%	A A	○定時退校の呼びかけや準衛生委員会での勤務状況の共有により、超過勤務60時間以内の達成率が97%と大きく向上した。今後は、行事前後など特定時期への負担集中をどう減らしていくかが課題である。 ○運動会や学習発表会の精選・効率化を進めることができた。今後は行事だけでなく日常の校務全般における更なる効率化が課題である。	○毎週水曜日の定時退校日を徹底し、デジタルも効果的に取り入れながら、だれか一人に負担が偏らないような働き方を目指す。 ○行事の成果と課題を振り返ることで、準備や運営をスマートにし、できた時間やエネルギーを「生徒と丁寧に向き合う時間」にあてていく。	○			○主任主事に業務が偏らないよう工夫改善を進めてください。 ○ICTの活用により業務改善を更に進めてください。 ○定時退校の実現について調整対応を行いながら実現につなげていただきたい。 ○クラブも大切な生徒とのつながりの場なので、地域移行にまかさず、関われるところでつながってほしい。 ○阻害案件の中で対応がとれている案件と難しい案件の「見える化」をお願いしたい。

【j：自己評価　評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60

【l：学校関係者評価　評価】
イ：自己評価は適正である。　ロ：自己評価は適正でない。
ハ：分からない。